

## 自分の県とまわりの県つながり

秋田市立上新城中学校 鈴木 浩悦



日本列島地図（帝国書院『中学校社会科地図（初訂版）』p.66～69）は日本列島の地形や地域間のつながりを調べるのにたいへん便利である。p.68～69の下部には距離用定規が掲載されており、これを十分に活用したい。

### 東北6県の県庁所在地の位置関係を調べる

ねらい

東北6県をつなぐ県庁所在地間の距離のちがいをからとらえさせる。

準備するもの

地図帳 ノート 透明シート（A4判程度） ネームペン

《作業例》

- ①透明シートを地図の上におき、県庁所在地に印をつける。
- ②マークした透明シートを距離用定規にかさねて距離を調べる。
- ③各県庁所在地間の距離をノートにまとめ分析する。

このように透明シートと地図帳を利用すれば、東北6県の県庁所在地間のおおよその距離は容易に導きだせる。

- ④次に透明シートのみを分析する。すると地図上ではよくわからないが、実は図のよう



に北東北3県（青森・秋田・岩手）と南東北3県（宮城・山形・福島）がそれぞれ距離的に近い関係にあることがより明確になる。現に北東北3県は現在県の領域を超えた道州制への移行を検討している。また仙台・福島・山形の各都市間はほぼ50km程度の距離にあり、関係や交流も深いことが予想できる。

- ⑤さらにマークした透明シートを使い、ほぼ同じ距離にある別の都市を探させる。たとえば秋田～盛岡＝福岡～熊本＝大阪～津（およそ90km）のようである。

この作業は、となりの県の県庁所在地（盛岡）までの距離感を生かして、日本のその他の都市間のおおよその距離や移動時間などを予想させるのに有効である。透明シートを使ったもう一つの例を紹介する。

- ①地図帳の距離用定規の上に透明シートをおき、100kmごとに点を打つ。
- ②特定の都市の上に置き、調べたい都市までの距離をだす。

この作業により調べたい都市までの距離とともにその直線上にある都市名やおおよその距離なども把握できておもしろい。

ぜひ実践してみてください。